

公益財団法人

渡邊財団

SINCE 1994

第32回 合同助成金授与式典 開催レポート

2026年6月28日、京王プラザホテル（東京）において、公益財団法人渡邊財団の第32回磁気健康科学研究助成/第7回渡邊利三国際奨学金 両助成事業の「合同助成金授与式」を開催いたしました。当日はW台風の影響が懸念される中、両助成金事業における採択者の方々をはじめ、当財団役員方、賛助会員のみなさま方を含め多くの方々にお集まりいただきました。格式高い合同助成授与式の終了後、豪華懇親会の間を通じ和やかな雰囲気の中交流を深め盛大な授与式典・懇親会となりました。





公益財団法人渡邊財団は、「磁気健康科学」に関する研究助成を行うことにより、豊かな国民生活の実現と経済社会の発展に寄与する目的で 1994 年に設立されました。毎年、数々の研究分野に助成を行い、これまでの助成金総額は 5 億円を超えております。25 周年の節目となる 2019 年には渡邊氏個人の寄付（基金の増額）により「渡邊利三国際奨学金制度」を設立し、海外留学先で最先端の研究を目指している若い研究者を支援して参りました。そして 2023 年、渡邊氏個人によるさらなる寄付により、基金総額は 30 億 10 万円となりました。これは当財団にとって大きな変革をもたらすことに繋がっています。

本年度も「磁気健康科学研究助成」「渡邊財団国際奨学金助成」として、国内における磁気健康科学研究に関する助成金、および海外で最先端科学を学ぶ研究生に対し国際奨学金を通じ支援助成を行うことができました。これらの目的達成の過程で両助成金授与者からノーベル賞あるいはそれに匹敵する名誉ある賞の受賞者が生まれ出ることを願っています。当財団は今後も更なる積極的な支援活動を行いより一層の努力をして参りますので、今後も変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



（公財）渡邊財団 小谷 誠 理事長
ご挨拶



（公財）渡邊財団 多氣 昌生 選考委員長
選考結果発表

特 別 講 演 （ セ ミ ナ ー ）

◆特別講演◆



講師：岡野 栄之 先生

所属/役職：米国 Massachusetts Institute of Technology / 客員教授

慶應義塾大学再生医療リサーチセンター / センター長/教授

講演タイトル

神経難病克服への果てなき挑戦：iPS 細胞、モデル動物、再生医療が拓く未来

講演内容

中枢神経系は一度損傷すると再生しないという従来の常識は、発生生物学、幹細胞生物学、iPS 細胞技術、ゲノム編集、イメージング、オミクス解析、先端モデル動物研究の進展により大きく変わりつつあります。本講演では、ミエリン形成異常モデルマウスの研究から始まり、ショウジョウバエ神経発生変異体の解析による RNA 結合タンパク質 Musashi の発見、神経幹細胞の維持・非対称分裂・可視化技術の開発へと発展した研究の歩みを紹介します。

さらに、齧歯類およびマーモセット脊髄損傷モデルを用いた神経回路再構築、再髄鞘化、栄養因子作用の検証、ヒト iPS 細胞由来神経前駆細胞による亜急性期脊髄損傷臨床研究、ALS 患者由来 iPS 細胞を用いた ALS 治療候補薬のロピニロールの同定とリバース・トランスレーショナルリサーチを概説します。細胞モデル、動物モデル、臨床情報を往復しながら病態理解と治療開発を進める重要性に加え、生命倫理、動物福祉、再現性、社会への説明責任を踏まえ、若い研究者が自らの問いを大切に、異分野との対話を通じて新しい生命科学を切り拓くための視点を考えます。



経歴

1983 年 慶應義塾大学医学部卒業
1983 年 慶應義塾大学医学部生理学教室（塚田裕三教授）助手
1985 年 大阪大学蛋白質研究所（御子柴克彦教授）助手
1989 年 米国ジョンス・ホプキンス大学医学部生物化学教室 研究員
1992 年 東京大学医科学研究所化学研究部（御子柴克彦教授）助手
1994 年 筑波大学基礎医学系分子神経生物学 教授
1997 年 大阪大学医学部神経機能解剖学研究部 教授
2001 年 慶應義塾大学医学部生理学教室 教授（～2024.3）
2007 年 慶應義塾大学大学院医学研究科委員長（～2015）
2008 年 オーストラリア・Queensland 大学 客員教授（～2018）
2014 年 星薬科大学客員教授（現職）
2015 年 慶應義塾大学医学部長（～2017）
2017 年 慶應義塾大学大学院医学研究科委員長（～2021）
2021 年 藤田医科大学客員教授（現職）
2022 年 米国 Massachusetts Institute of Technology 客員教授（現職）
2024 年 慶應義塾大学再生医療リサーチセンター センター長/教授（現職）

主な受賞歴：

1998 年 北里賞
2001 年 塚原仲晃賞
2004 年 東京テクノフォーラム 21 ゴールドメダル賞
2004 年 Distinguished Scientists Award（イタリア Catania 大学）
2004 年 日本医師会医学賞
2006 年 文部科学大臣表彰・科学技術賞
2008 年 井上學術賞
2009 年 紫綬褒章
2011 年 Johnson & Johnson Innovation Award
2014 年 The first prize of the 51st Erwin von Bälz Prize
2016 年 Molecular Brain Award
2016 年 Faculty Award for Internationalization 2016
(Impact factor Most Outstanding Award) (慶應義塾大学)
2017 年 DGD Editor-in-Chief Prize

2021 年 第 18 回高峰記念第一三共賞

2022 年 上原賞

2022 年 持田記念学術賞

2023 年 福澤賞（慶應義塾より）

2024 年 2023 年度 Best Teacher Award（慶應義塾大学医学部 第 2 学年第 1 位）

2025 年 Top 10% of Most-Viewed Papers（Journal of Neurochemistry 誌）

2025 年 ISSCR 2025 Public Service Award

2026 年 日本再生医療学会功績賞

2026 年 Springer Nature Editorial Contribution Award

2026 年 Springer Nature Author Service Award



特 別 講 演 （ セ ミ ナ ー ）

◆渡邊利三国際奨学金セミナー◆



講師：芳賀 純香 先生

所属：慶應義塾大学大学院 理工学研究科 開放環境科学専攻
環境エネルギー科学専修

役職：修士 2 年

講演タイトル

ハンブルク工科大学における多相流研究と異文化環境での 1 年間

講演内容

ドイツの多相流研究所でのマイクロバブル研究と、ボランティアや多国籍な交流を通じ多様な価値観に触れ、研究面・人間面の両方で成長した実りある 1 年間の留学経験を振り返り、その成果と今後の目標について講演いただきました。

経歴

2020 年 4 月：慶應義塾大学 理工学部 入学

2024 年 4 月：慶應義塾大学大学院 理工学研究科 開放環境科学専攻 環境エネルギー科学専修 入学

2024 年 4 月：ドイツのハンブルク工科大学 多相流研究所に 1 年間留学

第 5 回渡邊利三国際奨学金採択

留 学 期 間：2024 年 4 月 21 日 ～ 2025 年 3 月 21 日

留 学 先：ハンブルク工科大学 （ドイツ）

研究テーマ：水中に静止した酸素マイクロバブルからの物質移動の可視化



THE WATANABE FOUNDATION
SINCE 1994

特 別 講 演 （ セ ミ ナ ー ）

◆健康長寿セミナー◆



講師：小谷 誠 先生

所属：東京電機大学 名誉教授 第5代学長

講演タイトル

最新医療を学び、健康寿命を延ばしましょう

講演内容

マサチューセッツ工科大学留学時代に脳や心臓から発生する微弱な磁気を計測する研究に従事しその後、ハーバード大学医学部との共同研究では、アスベストが健康に深刻な被害を及ぼすことを科学的に明らかにしアスベスト規制の重要性に貢献。また、東北大学医学部との共同研究では、スパイクタイヤによる粉じんが人体に及ぼす影響を調査し、肺磁界計測装置を用いて住民の肺内粉じんを測定しその成果が『スパイクタイヤ規制』へとつながる一助となりました。さらに、通商産業省（現・経済産業省）の国家プロジェクト「高度脳磁場計測装置の開発」に採択され、約60億円規模の研究開発を5年間にわたり推進した。幹細胞研究の基礎、記憶力と判断力を担う脳の仕組み、老化や認知症の現状や喫煙・高血圧・運動不足という健康寿命を縮める三大要因を取り上げ、健康で長生きするための実践的なポイントをわかりやすくお話いただきました。

経歴

1977年：東京電機大学工学部 教授
1995年：ヒロセ国際奨学財団 理事
1995年：ライフサポート学会 会長
1997年：日本生体磁気学会 会長
1998年：東京電機大学 第5代学長
2005年：似鳥国際奨学財団 理事
2007年：ロッテ財団 評議員
2007年：文部科学省 科学技術・学術審議会 委員
2008年：東京電機大学 名誉教授
2013年：カシオ計算機株式会社 社外取締役
2013年：神山財団 評議員
2015年：瑞宝中綬章 受章



2015 年：日本電気技術者協会 副会長

◆ 第 32 回 磁気健康科学研究助成 対象者 （総額：1,700 万円）

種別	氏名	所 属
基礎	宮本 大輔	長崎大学 大学院 医歯薬学総合研究科 外科学講座 移植・消化器外科学分野
基礎	趙 炳郁	東京大学情報理工学系研究科知能機械情報学専攻
基礎	永井 隆	名古屋市立大学大学院医学研究科腎・泌尿器科学分野
基礎	アルブレヒト 建	九州大学先端物質化学研究所
基礎	谷田部 浩行	東京大学大学院 工学系研究科 化学生命工学専攻
基礎	岡 芳美	岩手大学理工学部 理工学科
応用	大谷 泰	東京科学大学 整形外科分野
応用	細見 晃一	大阪大学大学院医学系研究科 脳神経外科学
応用	笹山 瑛由	九州大学大学院システム情報科学研究院
応用	奥山 航平	慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室
応用	高橋 隼	大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室
テーマ指定	打田 佑人	名古屋市立大学大学院医学研究科
テーマ指定	金光 芳樹	九州大学大学院医学研究院
テーマ指定	片山 奈理子	慶應義塾大学保健管理センター
テーマ指定	辻 寛謙	公益財団法人 東京都医学総合研究所
テーマ指定	芝 陽子	岩手大学理工学部材料科学コース
テーマ指定	片桐 夏樹	順天堂大学大学院医学研究科

◆第32回 磁気健康科学研究助成 採択者のみなさま



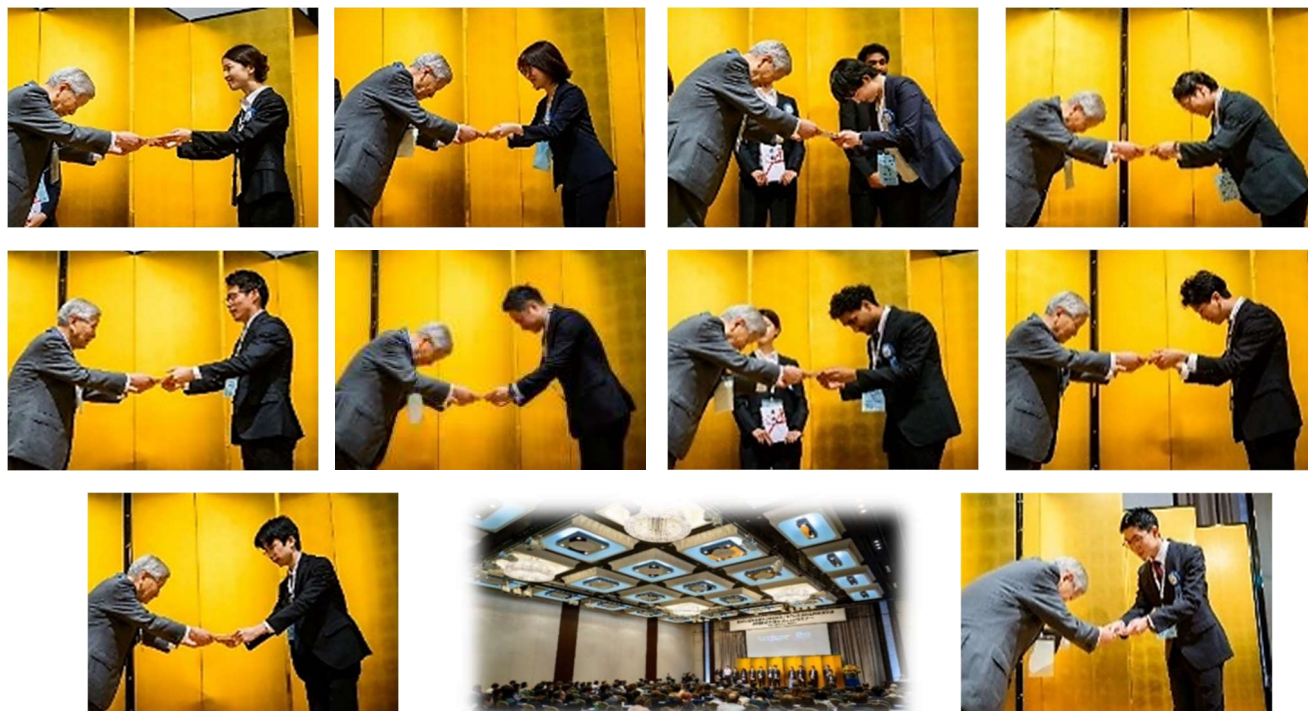
ご欠席された授与者
の方にはコメントを
頂きました。



◆ 第7回 渡邊利三国際奨学金 対象者 (総 額：3,120 万円)

氏名	所属	留学先国名・機関	
前田 勇貴	名古屋大学大学院医学系研究科 生体反応病理学	ドイツ	ヘルムホルツセンター・ミュンヘン
大村 一史	岐阜大学大学院医学系研究科 脳神経外科	アメリカ	イリノイ大学シカゴ校
小花 彩人	国際医療福祉大学医学部	アメリカ	メーヨークリニック アリゾナ
川口 健悟	九州大学病院	アメリカ	ブリガム&ウィメンズ病院
森川 拓弥	熊本大学国際先端医学研究機構	アメリカ	ハーバード医科大学 ダナ・ファーマー/ ボストン小児病院 がん・血液センター
幸 龍三郎	京都薬科大学	アメリカ	カリフォルニア大学ロサンゼルス校
池田 尉昭	京都大学工学研究科マイクロエン 지니어リング専攻	アメリカ	カーネギーメロン大学
西村 洸一郎	東京大学医学部附属病院	イギリス	オックスフォード大学
石田 直也	東京科学大学病院 再建形成外科	ドイツ	シャリテ・ベルリン医科大学
松下 裕貴	国立循環器病研究センター研究所 バイオデジタルツイン研究部	オーストラリア	クイーンズランド大学集中治療研究グ ループ がん・血液センター
島内 淳志	九州大学大学院医学研究院 呼吸器内科学分野	アメリカ	ダナ・ファーマー癌研究所
田中 琴音	神奈川県立保健福祉大学	スウェーデン	スウェーデン・オレブロ大学
岩井 萌	順天堂大学医学部附属順天堂医院 薬剤部	アメリカ	コロンビア大学メイルマン公衆衛生大 学院
フセイン サード	千葉大学大学院 融合理工学府 基幹工学専攻 機械工学コース	スイス	スイス連邦工科大学ローザンヌ校 (EPFL)
桐野 桜	東京科学大学大学院医歯学総合研 究科消化器病態学分野	アメリカ	マサチューセッツ工科大学
田村 旺子	東京大学大学院医学系研究科 呼吸器内科	アメリカ	スタンフォード癌研究所

◆第7回 渡邊利三国際奨学金 採択者のみなさま



ご欠席された授与者
の方にはコメントを
頂きました。

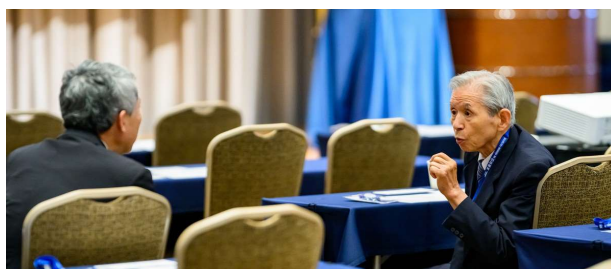
◆ 帰国奨学生特別スピーチ（第1回 第6回渡邊利三国際奨学金）

氏名	所属	留学先国名/機関
串岡 純一	湘南藤沢徳洲会病院 脊椎センター・脊柱側彎症センター	第1回渡邊利三国際奨学金 採択者 アメリカ スタンフォード大学ド大学 留学期間 2021年4月1日～2023年3月31日
清水 裕真	桃山学院大学 工学部	第1回渡邊利三国際奨学金 採択者 イギリス ケンブリッジ大学 留学期間 2025年5月1日～2026年2月28日

◇ 国際奨学金に採択され、ご帰国されたお二方に研究内容、現地での生活や文化について壇上にてお話しいただきました。



役員の方々



授与者の方々



THE **YATANABE** FOUNDATION
SINCE 1994

賛助会員の方々



